

# 平成30年度学校自己評価システムシート(埼玉県立越谷特別支援学校)

目指す学校像	自立する力を育て、一人一人の児童生徒を伸ばし、保護者や地域の期待に応える学校
--------	--

重点目標	1キャリア教育と自立活動双方の観点を踏まえて、教育支援プラン及び指導計画等を見直し、授業の充実を目指す。 2保護者・地域への情報発信とセンター的機能を充実させ、開かれた学校作りを行う。 3教育力を高める教育環境作りに向けて、児童生徒が健康で安全に学べる環境整備を行う。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	6名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	11名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年度評価(2月1日 現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動専任、外部専門家、保健室、ケアルーム等の特別支援教育の専門部門と連携しながら、個々の教育的ニーズに応じた「わかるできる」意欲を育む授業を実践している。この実践を通し、キャリア教育の研究も5年目のまとめの年を迎え、育てたい力の指標試案を作成した。この指標を基に育てたい力を検証する。</li> <li>各類型の教育課程において小中高の系統性や学年の関連性について課題が出ている。授業研究等を通して課題解決に向けた検討をしていく。</li> <li>訪問教育においてもキャリア教育と自立活動双方の観点で授業展開を進めている。</li> <li>寄宿舎においては日頃から児童生徒の実態把握に努め、舎の生活と学校生活をつなげる努力をしている。キャリア教育の観点からも系統性を検討する視点としていく。</li> <li>来年度までの2年間において新学習指導要領を研究し、これからの10年間を描き、教育課程の編成を進めていく。</li> </ul>	(1) 児童生徒一人一人の成長を実感できる授業づくりを行う。	<ol style="list-style-type: none"> <li>教育支援プランの領域教科等の目標を具体化させ、各目標とリンクさせた授業を行う。</li> <li>授業研究を通し、各教員の実践力を高める。</li> <li>教員間の共通の視点で評価し、次の授業につなげる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>具体的に目標が設定できたか。指導案に盛り込んだ授業になったか。</li> <li>他の授業を見学できたか。自分の実践に活かそうとしたか。</li> <li>教員間で課題や目標を共有し、適切に評価できたか。</li> <li>授業につなげられたか。</li> </ol> ※保護者アンケートも活用	<b>およそ8割程度達成できた。</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>教育支援プランの目標を具体化させ、指導案につなげて授業展開をしている。</li> <li>数多くの学習グループにおいて、試案「時期のおさえ」を活用した研究授業ができた。</li> <li>教員間で評価の視点等の共通理解を図って指導にあたっている。</li> </ol> ※保護者からは、教育支援プランを踏まえた指導、わかりやすく意欲を高める指導、教材教具の工夫のある指導と概ね満足の評価である。	A	<ol style="list-style-type: none"> <li>授業によっては検討が不十分なものもある。継続する。</li> <li>授業検討のための時間不足、研究授業を見合う体制が十分に取れていない現状である。授業の学部間交流を工夫する。</li> <li>教員間で指導力には差がある。研究部等において必要な資料を準備し、研修を行い、専門性の向上のための取組を継続する。</li> </ol>
		(2) 新学習指導要領を踏まえた教育課程の改善を行う。	<ol style="list-style-type: none"> <li>授業研究を通し、12年間の系統性、育てたい力を検証する。</li> <li>類型会議において類型内の課題を整理し課題検討を進める。</li> <li>教育課程検討委員会を中心に、学校教育目標、目指す学校像の検討を行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>育てたい力の系統性が検討できたか。</li> <li>授業研究を通し、類型の課題を整理できたか。検討が進められたか。</li> <li>新学習指導要領を学び合えたか。将来構想を描き、学校教育目標と目指す学校像について検討し、具現化することができたか。</li> </ol>	<b>およそ6割程度の達成である。教育課程の課題は多く、検討を進めている。</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>試案「時期のおさえ」を踏まえ、段階を確認し、授業内容を検討している。</li> <li>教育課程検討委員会からの提言された類型の課題について、検討が進められている。</li> <li>教職員、保護者から教育課程に関するアンケートをとり、それを踏まえて学校教育目標と目指す学校像の検討が始まった。</li> </ol>	B	<ol style="list-style-type: none"> <li>「時期のおさえ」の活用も含め、系統性について検討中である。「時期のおさえ」を活用し、縦割りの研修を進める。</li> <li>検討部署を工夫し、課題の整理、検討を進める。</li> <li>検討計画を策定し、進める。</li> </ol> ※保護者からは、前年度の課題や卒業後を意識した指導ということで評価はやや低めである。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>月例に加え対象を絞った学校公開や連絡会を実施し、校内外HPの更新と併せて、広く学校の情報発信に努めている。また、支援籍学習や地域の学校との交流会も実施している。今後も地域資源を積極的に活用するとともに、地域の特別支援教育の理解啓発に努めていく。</li> <li>保護者に対し、教育支援プランの作成、授業参観等を通して、合理的配慮の提供や説明責任を果たすべく努力している。面談方法や引継ぎについて保護者から指摘があった。常に工夫改善に努め、今後も課題意識をもって取り組む。</li> <li>訪問教育においては通信、スクーリング等での交流学級との交流を行っている。</li> <li>寄宿舎においては保護者連絡会、開閉舎会等の各種行事を通し、保護者連携や地域との交流を行っている。</li> </ul>	(1) 児童生徒をリスペクトし、保護者の願いを踏まえた教育実践を行う。	<ol style="list-style-type: none"> <li>保護者の願いを受けとめ、適切な合理的配慮を提供する。</li> <li>授業参観や面談等の工夫を行い、説明責任を果たす。</li> <li>学級、類型等において情報共有を図り、チームとして対応していく。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>十分に意見交換を行い、指導につなげられたか。</li> <li>効果的な方法を見出せたか。</li> <li>常にチームとしての対応ができ、指導につなげられたか。</li> </ol> ※保護者アンケートも活用	<b>およそ8割程度達成できた。</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>いろいろな機会に保護者と共通理解、情報共有を図り、指導につなげている。</li> <li>授業通信や参観後のアンケートを活用し、授業に活かしている。また、面談等において丁寧な説明を行っている。</li> <li>児童生徒の障害特性を確認し、チームとして対応している。</li> </ol> ※保護者からも概ね満足という評価である。	A	<ol style="list-style-type: none"> <li>今後も継続していく。</li> <li>家庭事情で参加しにくい保護者がいるが、工夫しながら今後も継続していく。</li> <li>会議時間、指導体制での課題はあるが、「チーム越谷」として今後も継続する。</li> </ol>
		(2) センター的機能を果たし、地域との連携を密にした教育活動を行う。	<ol style="list-style-type: none"> <li>支援籍学習や交流会を積極的に進め、児童生徒の自己肯定感を高めていく。</li> <li>伝わりやすいHP構成を工夫する。</li> <li>地域資源の掘り起こしを行い、活用を見出す。</li> <li>学校公開や連絡会等を工夫し、本校及び特別支援教育の理解啓発を促進する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>交流等から学んだことが本校での生活や学習に結びついているか。</li> <li>どんな工夫ができたか。</li> <li>どんな地域資源を見出せたか。</li> <li>積極的に情報発信ができたか。</li> </ol>	<b>継続発展した取組があり、概ね達成したが、課題のある取組もある。</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>各学部とも学校間交流を実施し、事前学習により障害特性の理解が深まっている。併せて類型間交流も実施している。支援籍学習は新規参加(19)もあり、計画的に実施している。</li> <li>定期的に更新している。</li> <li>のべ70日、ボランティアの活用ができた。</li> <li>学校公開はのべ150人の参加者。学区内教育委員会、支援課、福祉課、事業所連絡会、医ケア地域連絡会を開催した。教育課程について参考となったという意見が多い。</li> </ol>	B	<ol style="list-style-type: none"> <li>課題を整理し、今後も継続する。</li> <li>伝わりやすい構成を工夫する。</li> <li>新たな地域資源の掘り起こしはできなかった。いろいろな情報を集めて地域資源の活用を検討する。</li> <li>今後も継続する。</li> </ol> ※保護者からHP充実の課題があり、低めの評価である。
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の安全点検、各種訓練、様々な安全健康指導面に関する研修会の実施、毎日の学部朝会での情報交換等を行い、危機意識をもちながら指導にあたっている。引き続き重大事故0をめざしていく。</li> <li>安全に関して関係部署の業務内容や連携を確認し、危機管理対応を昨年度から再構築している。また、危機管理マニュアルを再整備した。危機意識を向上させ、迅速な対応を心がける。</li> <li>訪問教育、寄宿舎においても、危機管理マニュアルに沿った訓練等を行い、非常事態に備えている。</li> </ul>	(1) 安心安全な学習環境を整え、重大事故を防ぐ。	<ol style="list-style-type: none"> <li>事例提供や研修、訓練等を通し、日頃からの危機意識を向上させる。</li> <li>常に教材教具や備品の整理整頓を図り、学習環境の整備を心がける。</li> <li>ヒヤリハット、事故報告をチームで分析し、事故防止に活かす。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>様々な研修等を通し、日常の指導に活かされたか。また、いざという時の対応ができるか。</li> <li>安全点検日のみならず毎日の点検、指導上の確認ができたか。</li> <li>報告連絡相談が迅速にできたか。事故等の対応を次の指導に活かされたか。</li> </ol> ※保護者アンケートも活用	<b>施設設備的な課題はあるが、およそ8割程度達成できた。</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>様々な訓練、研修を行い、危機管理意識を向上させている。救急搬送等もその都度、役割分担し、行動している。重大事故はない。</li> <li>実態に応じた環境整備を行う。安全点検等は確実に実施し、危険箇所の点検もできた。</li> <li>ヒヤリハット、事故を分析、共有し、活用に努めている。安全指導の意識は向上してきている。</li> </ol>	A	<ol style="list-style-type: none"> <li>今後も必要な訓練や研修を継続する。</li> <li>収納スペース不足により、教材が整理できない課題がある。整理整頓は今後も努力課題である。</li> <li>ヒヤリハット、事故報告を整理し、継続活用していく。</li> </ol> ※保護者から、「環境整備」「事故防止」についてやや低めの評価になっている。

学校関係者評価
実施日 平成31年2月5日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<b>【重点目標1】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>代表児童生徒の発表からよい学校であると感じる。</li> <li>学校では学習や人との交流を通し自己肯定感を高めてほしい。得意なことを伸ばし、苦手なことは努力し、できないことは代替を考える。何を軸にしていけばよいか整理できることが大切である。卒業後を見通し、系統性や継続性を考え、12年間でその子らしさを育成していただきたい。</li> <li>横の交流、つながりだけでなく、類型、学年を越えた縦の交流、つながりも大切にしてほしい。卒業後の長い生活の中で成果をみることも大切である。</li> <li>体験不足を補うICT機器の活用、ALTの取組等、いろいろな体験をさせてほしい。</li> <li>身体学習は大切であるが、そのためのアセスメントを考えてほしい。</li> </ul>
<b>【重点目標2】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源の掘り起こしも大切だが、理解してくれる資源を広げる視点、育成する視点ももちたい。特別支援教育等について積極的に情報発信をしてほしい。</li> <li>HPは、学校のPRと情報発信のツールである。情報が出ることについては保護者と十分に確認しておくことが必要である。</li> </ul>
<b>【重点目標3】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理とリスクマネジメントの意味を教員が整理して理解する必要がある。</li> </ul>
<b>【その他】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>反省内容と評価指標との乖離がある項目がある。評価疲れしないよう、達成できそうな目標設定にしたい。</li> <li>保護者アンケートには「お子さんは学校を好きと言っているか?」のような質問項目をいれてほしい。家族での様子や子どもの声も加えてはどうか。</li> </ul>